

海外研修生の受け入れ

藤原 啓二

玉那覇 SANS 靖

1. 概要

例年、OFCF（海外漁業協力財団、東京）が受け入れる南太平洋漁業技術者長期集団研修コースの研修生12名とOIF（沖縄県国際交流財団）が受け入れるソロモン漁業研修生2名、計14名の研修計画策定の支援や漁協への手配、物品調達、会場設営等を行った。

また、NGO（非政府機関）の訪問者（台湾、タイ、フィリピン）に対しても、本県水産業概況、赤土問題関係や漁具漁法関係等の資料提供及び説明を行った。

2. 事例報告

南太平洋漁業技術者長期集団研修コースは、南太平洋7カ国（ミクロネシア、パラオ、ツバル、マーシャル、キリバス、ソロモン、P. N. G.）を対象国とし、同諸国の零細沿岸漁業のレベルアップを図る研修となっている。

同研修を日本で実施する場合、海洋環境の類似した本県で例年実施され、成果をあげている。

しかし、同研修の問題点としては、各国から2名しか来れないため現地での普及に問題があることであった。さらに、研修生の職業も漁業者、流通業者、政府職員、研究員とバラエティーにとんでおり、研修項目の設定にも苦慮し、総論的な研修になりがちであった。

したがって、その改善策として研修生の間からも日本から技術者が直接に水産高校実習船等で各国に赴く「出前方式」の研修を切望された。

南太平洋漁業技術者長期集団研修コース

研修生名簿

1	<p>イティマロロア ティロア ITIMAROROA TIROIA キリバス共和国 40才 男 政府漁業担当アシスタント</p>	5	<p>アリフィオス カニーズ ALIPHIOS KANNYS ミクロネシア連邦 (チュウーク) 34才 男 政府職員漁業技術者</p>	9	<p>チャルズ ヒサボーダ CHARLES HESABODA バプアニューギニア 39才 男 政府職員漁業担当官</p>	13	<p>シウェル ベタイア SIUELE PETAIA ツバル 39才 男 政府職員漁業担当</p>
2	<p>テムワング テブアテキ TEMWAANG TEBWATEKI キリバス共和国 34才 男 政府漁業担当アシスタント</p>	6	<p>パトリック バカリビィ PATRICK PECKALIBE ミクロネシア連邦 (ヤップ) 32才 男 政府職員船長</p>	10	<p>ハロ ミロウ HARO MIROU バプアニューギニア 43才 男 政府職員漁業担当</p>	14	<p>タオア ヴァイスア TAOA VAISUA ツバル 29才 男 漁民</p>
3	<p>ディアル ティミセン DIAL TIMISEN マーシャル共和国 30才 男 政府職員</p>	7	<p>ハリー ニジロミドゥル HARRY Z. NGIRMIDOL パラオ共和国 37才 男 政府職員漁業担当官</p>	11	<p>ヴィクター ディック レタコロ VICTOR DICK LETAKOTO ソロモン諸島 30才 男 政府職員漁業担当</p>		
4	<p>ワカレイ アイニ WAKALEY AINI マーシャル共和国 27才 男 政府職員</p>	8	<p>ペトリム ソラング PETLIM SOLANG パラオ共和国 29才 男 政府職員漁業担当</p>	12	<p>マイケル パポ MICHAEL PAPO ソロモン諸島 27才 男 政府職員漁業担当</p>		